



平成29年9月15日

伊勢市立大湊小学校

No.10



校長 後藤 安代

学力学習状況調査結果から

6年生が4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の採点結果が先日返ってきましたのでお知らせします。この調査は、国語・算数の学力状況調査と児童質問紙による学習状況調査からなります。国語と算数はそれぞれA問題とB問題で構成されており、A問題は、「基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかを見る問題」で、B問題は「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかを見る問題」です。また、学習状況調査は、学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する質問で選択肢から回答していくものです。調査結果から見えてきたことをまとめてみました。

【学力状況について】(学力状況調査結果から)

子どもたちは、どの調査にも最後まで解こう、答えようと努力し、無解答は少なかったです。学校の平均正答率は、国語 A,B、算数 A,B とも全国平均を下回りましたが、設問別にみると全国平均を上回る正答率もあり、昨年度実施したCRTやみえスタディチェックより県平均との差は小さくなっています。基本的な力は段々付いてきています。

国語においては、A問題の漢字の読み書きと俳句の情景をとらえる問題では、全国平均を上回っている設問もありました。基礎的な読解力と漢字の読み書きなど基礎的な力がついていますが、課題となるのは、ことわざの意味の理解や使い方と古文の理解、手紙の書き方を理解し、書くところです。B問題では、目的に応じて適切な言葉遣いで話す問題では、全国平均に近い正答率でしたが、質問の意図を忖えて考えることや、登場人物の関係や心情、場面の描写を捉えることには課題があります。

また、算数では、A問題では、計算力や図形の理解等の基礎的な力はこれまでよりついてきていますが、自分の考えを式に表す問題や加法と乗法の混合した小数の問題、2つの要素が入った表の読み取りなどに課題があります。B問題では、文章量の多い問題の読み取りが苦手な傾向にあり、式や言葉を使って説明することや指定された答え方で答えることに課題があります。

《今後の取り組み》

○国語：「漢字の読み書きやことわざの意味など国語の基礎基本を定着させる」「授業の中で自分の考えを相手にわかりやすく伝え、話し合いを充実させる」「自分の考えを書く機会を増やす」等の指導方法の改善に努めてまいります。

○算数：「基礎的な計算力や基本的な考え方を定着させる」「問題を自力解決させる機会を増やす」「自分の考えを式や言葉で表す機会を増やす」「書き方や話し方を意識した授業作りをする」など指導方法の改善に努めてまいります。

国語、算数とも文章を読み取ることが大きな課題ですので、朝読書や家庭での読書活動をさらに充実させていくことが大切です。保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

【学習状況について】(児童質問紙の調査結果から)

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を選んだ肯定的な人の%を表す

○強み (全国を上回っている主な内容)

- ・友だちの前で考えや意見を発表することが得意である。(大湊 89.2%,全国 52.2%)
- ・昼休みや放課後、休日に学校の図書室や地域の図書館に週に1回以上行く。(大湊 50.0%,全国 38.6%)
- ・家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話す。(大湊 100%,全国 78.1%)
- ・算数の問題の解き方がわからない時は、諦めずに色々な方法を考える。(大湊 95.8%,全国 81.1%)

○弱み (全国を下回っている主な内容)

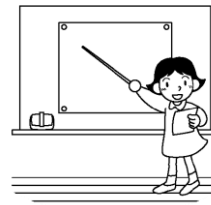
2時間以上(3、4時間以上の人も含む)を選んだ人の合計の%を表す

- ・将来の夢や目標を持っている。(大湊 41.7%,全国 58.3%)
- ・平日にTVゲーム(パソコンや携帯ゲーム機、スマートフォンも)を2時間以上する。(大湊 62.5%,全国 31.1%)
- ・平日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを2時間以上する。(大湊 33.4%,全国 12%)
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。(大湊 41.7%,全国 58.3%)
- ・学校の授業以外で、平日の1日あたりの学習時間(塾なども含む)1時間より少ない。(大湊 54.2%,全国 35.6%)
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。(大湊 45.8%,全国 64.5%)
- ・家で、学校の授業の復習をしている。(大湊 25%,全国 53.8%)

0分の人も含めた1時間未満の人の合計の%を表す

《今後の取り組み》

本校児童の良いところを伸ばす取り組みを進めるとともに、課題のあるところを克服するために、復習の宿題を出すなど子ども達の生活習慣の改善につながる指導を進めていきます。ご家庭におきましても、家庭での生活習慣を改善するためにまずは、お子様とテレビやゲーム、スマートフォンの使うときのルールを決めていただき、読書や家庭学習にあてる時間を確保していただきたいと思います。ご協力をよろしくお願ひします。



【学校質問紙から】

○取り組みが進んだと考えられる項目

- ・児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めた。
- ・授業で使うノートに学習の目標とまとめを書くように指導した。
- ・教科や道徳の時間にグループで話し合う活動を授業で行った。
- ・学校生活の中で児童一人一人のよい点や可能性を見つけ、児童に伝えるなど積極的に評価した。
- ・高学年の国語や算数の授業において、ティームティーチング(2人の先生)による指導を行った。

○今後、取り組みを進める必要がある項目

- ・算数で、発展的な学習の指導や、習熟度別の少人数グループでの授業を行う。
- ・学級やグループでの話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げるようにする。
- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発言や発表を行う。

《今後の取り組み》

- ・高学年の算数や国語の指導の中でティームティーチングでの学習を進めるとともに、応用問題などでは、必要に応じて、習熟度別の少人数グループでの授業も行う。
- ・教科や道徳、学活などの授業の中で、自分の意見を相手に伝えるように述べて、話し合いを深めるような取り組みを進める。